ふくおかフィナンシャルグループのお取引先の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいたお客さまのサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する法人〉

抱樸（ほうぼく）グループ

理事長
奥田（おくだ）知志（ともし）氏

取引店／福岡銀行 北九州営業部

「ひとりにしない」という支援 北九州市からホームレスをなくし、ホームレスを生まない社会を目指す

抱樸は1988年に発足した北九州日雇越冬委員会が活動の起源となります。数名のボランティアとともにホームレスへの炊き出しやパトロール活動を開始しました。その後ホームレスや生活困窮者への支援活動の規模を拡大し、現在では29もの事業活動を行っています。

活動を開始した当初は「ひとりの路上死も出さない」ことを使命としていました。炊き出しやパトロールを行って人々の命を守る活動を行っているうち、「畳の上で死にたい」という声が届くようになりました。そんな声に応え「一日も早い路上からの脱出」を第二の使命として自立支援活動が始まりました。

抱樸は「経済的困窮」と「社会的孤立」を「人の生きづらさ」と考えています。ハウス（家）は確保できてもホーム（つながり）がないままでは自立にならない。「この人には『何が』必要か」と「この人には『誰が』必要か」。この二つの問いを同時に解消する仕組みをつくり、人々を「ひとりにしない」という支援を行う。それが抱樸です。

希望のまちプロジェクトを始動 新たに救護施設を開設

抱樸では2020年4月に、北九州市の暴力団本部跡地を取得し救護施設として活用する「希望のまちプロジェクト」を開始しました。北九州市の「怖いまち」というイメージをなくし、地域に暮らす様々な人々がその人らしく生きるために、抱樸が「居場所」と「出番」を提供し、地域共生社会のモデルとして「希望のまち」を目指していて、2026年夏に開所予定となっています。

「希望のまち」イメージ

施設では1階にコミュニティスペースやカフェ、ブックシェルフ・コワーキングスペースなどを設置して、居住者と地域住民が交流できる地域一体型の救護施設を目指しており、また支援物資を備蓄して、災害時には施設を開放して地域住民の避難所としての役割も果たします。

本プロジェクトには土地の取得や施設の建設に多額の資金が必要となるため、抱樸では個人や企業から幅広く寄付を募って資金を調達し、プロジェクトの実現に至っています。

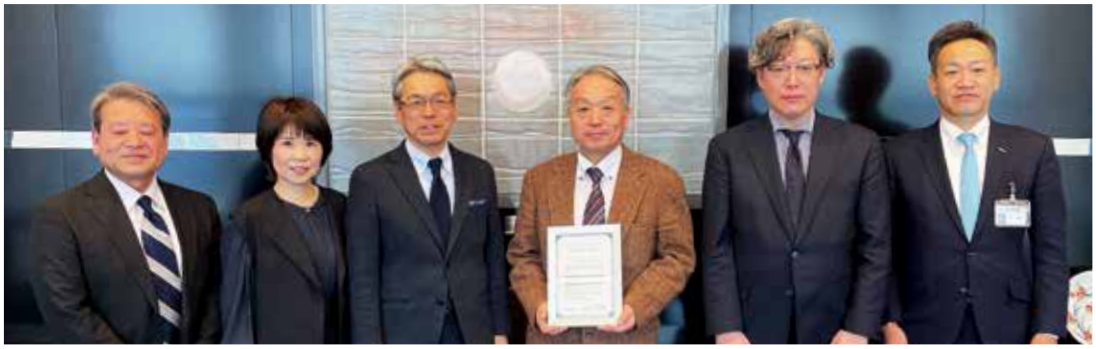
まちが子どもを育て、親を孤立させないまちづくり

人口減少、少子化、高齢化が日本の課題となっていますが、「単身化」が急速に進んでいるのも重要な現実です。全世帯の約4割が単身世帯となっています。日本人は諸外国に比べても「身内」に対する期待が大きいといわれています。家族に力があればいいのですが、単身化が進むとその肝心な家族がいない、ということになります。

既に男性の3割は生涯未婚です。社会保障などの制度は「家族がいる前提」で構築されていることもあり、今後どれほど良い制度があっても「利用できない」人が増えるのは確実です。

抱樸が取り組む「希望のまち」は身寄りのいない単身者も安心して暮らせるまちを目指します。まちを「大きな家族―なんちゃって家族」にします。子育てにおいても「まちが子どもを育てる」ことを目指し、親を孤立させないまちづくりを目指します。

抱樸の歩みは続きます。「断らない」こと、なによりも「ひとりにしない」ことを目指し、今後も活動していきたいと思います。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
（左から森松専務理事、水口部長、福岡銀行 五島頭取、奥田理事長、石井常務、福岡銀行 北九州営業部 岸原部長）

抱樸グループ

■認定特定非営利活動法人 抱樸

相談事業、困窮者・ホームレス支援事業、子ども・家族支援事業、高齢福祉事業、居住支援事業、就労支援事業、更生支援事業、障害福祉事業、地域共生社会創造事業、政策提言・周知活動

〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1-32　TEL.093-653-0779

■社会福祉法人 抱樸

救護施設事業、放課後等デイサービス事業　など

〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1-32　TEL.093-616-2840

FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら

ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

佐世保港湾運輸株式会社

代表取締役社長
村上 徳正 氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

佐世保港湾での荷役を担い一貫した物流サービスを提供

当社は戦時中である1942年に、当時の日本海軍の要請により佐世保港の荷役を担う会社として設立されました。戦後も引き続き佐世保港内において荷役一貫業務を行ってまいりました。

当社の売上は港湾運送および海上輸送による売上がほとんどを占めます。業務として船舶代理店業務や通関業務、船用品の供給や土木建設なども行いますが、これらは主業務である港湾運送を補完し、取引先の利便性の向上を目的としたものです。このような付随した業務も自ら行うことで取引先に対し一貫した物流サービスを提供することが可能となっています。

カーボンニュートラルポートの形成を推進、佐世保港港湾脱炭素化推進計画に参画

佐世保港の管理者である佐世保市は、港における脱炭素化を目指すカーボンニュートラルポートの形成を推進するため佐世保港港湾脱炭素化推進協議会を発足し、2024年3月に計画を策定しました。対象範囲を佐世保港のターミナルと、ターミナルを経由して行われる物流活動と定め、佐世保市と佐世保港に事業所を置く11社が方針や施策をまとめています。

計画の中で佐世保市は佐世保港で排出される温暖化ガス（計画では二酸化炭素のみ）の排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目標としています。

当社も低炭素型車両・荷役機械の導入などにより、微力ながら目標の達成に向け貢献していきたいと思っています。

佐世保港全景

安全で働きやすい職場づくり 社内のデジタル化を推進

当社の作業現場は鋼材や石炭、各種プラントなどの重量物を取り扱うため、相当な危険を伴います。そのため当社は従業員の安全を守ることを最優先に考えています。

また国内のあらゆる業種で人手不足が叫ばれる中、当社も人材を確保することを労働安全と等しく重要視しています。社員の安全を守りながら、デジタル化による業務効率化を行い、働きやすい魅力ある職場環境を整える取り組みをいくつも行っています。

長崎県や佐世保市においても、人口減少により人手不足は今後さらに増していくと思われます。そのような状況下でも、佐世保港湾運輸を人々から選ばれる会社・職場にしていきたいと思っています。

佐世保を代表する物流企業として 地域とともに発展していく

2019年から当社が目指すべき将来像を検討すべく、「ビジョン会議」を社内で立ち上げ、その中で経営姿勢として「人が大事」「お客様が大事」「地域が大事」「株主が大事」の4つの大事を掲げました。

また目標ビジョンとして「佐世保のみなとのグッドカンパニー」を掲げ、3つの目標（経営体力の向上、品質管理の向上、企業品格の醸成）を定め、6つの施策を展開しています。当社はその施策を行いながら事業基盤を強固なものにしていき、地元経済の活性化に貢献していきます。

佐世保港は当社のふるさとです。私たち佐世保港湾運輸は、この地域の活性化のため真摯に社業に取り組み、地域とともに発展していきたいと思っています。

〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
（右から村上社長、十八親和銀行 佐世保本店営業部 浦部長）

佐世保港湾運輸 株式会社

■本社所在地：〒857-0877 長崎県佐世保市万津町7番47号

■電 話 番 号：0956-24-5141

■事 業 内 容：一般港湾運送事業、港湾荷役事業、はしけ運送事業、通関業、船舶代理店業　他

■関 連 会 社：西海海陸運輸株式会社、新東陸運株式会社、西日本鋼業株式会社、松島港湾運輸株式会社

FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら

ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

西日本鋼業（にしにほんこうぎょう）株式会社

代表取締役社長
西山（にしやま）寛（ひろし）氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

全国でも珍しい伸鉄メーカー 鉄筋加工の技術を活かし、住宅基礎ユニット鉄筋の加工・販売にも注力

当社は、製鉄所や造船所などで発生する鋼板や端材を貴重な資源と捉え、熱間圧延という独自の製造プロセスを通じて棒鋼（鉄筋）を製造する伸鉄メーカーです。この事業活動は、限りある資源の有効活用という観点から持続可能な社会の実現に貢献するものです。特に、電気炉メーカーが製鋼と圧延の二つの工程を経るのに対し、当社は製鋼工程を省略し（鉄を溶かさない）、熱間圧延のみで製造するため、燃料消費量と二酸化炭素排出量を大幅に削減できる点が特筆されます。

また鉄筋を製造する傍ら、鉄筋加工も得意としています。有害鳥獣対策の防護柵支柱や港湾土木等の鉄筋加工など、様々な用途に用いる鉄筋を加工・販売しており、中でも住宅基礎ユニット鉄筋の加工・販売に注力しています。

住宅建築の基礎工事においては、従来、建築現場で鉄筋を切断・曲げ加工し組み上げる（手組み）作業に、多くの時間と労力が費やされていました。こうした背景を踏まえ、当社は住宅基礎用の鉄筋を工場で加工（切断・溶接・曲げ加工）し、ユニット鉄筋としてハウスメーカーや基礎業者へ提供しています。工場から直接建築現場へ持ち込まれるユニット鉄筋は、工期短縮、省人化、そして品質の安定化に貢献しています。

熱間圧延による鉄筋製造

ISO9001認証・JIS規格認証を取得 品質管理を徹底

電気炉メーカーで製造される鉄筋と比較して、伸鉄メーカーの鉄筋は品質面で劣るというイメージが一部に存在しています。しかし、当社では、徹底した品質管理体制を構築し、電気炉

住宅基礎ユニット鉄筋の加工

メーカーの製品と遜色のない品質を確保しています。その証として、品質マネジメントシステムの国際規格であるＩＳＯ９００１の認証を取得し、日本の工業規格であるＪＩＳ規格の認証を得た製品を製造・販売しています。

当社は品質マネジメントシステムをもとに自社製品の品質管理を体系化しており、製品の品質の均一化を図るとともに、今後さらなる品質の維持・向上を目指しています。なお、当社で製造しているＪＩＳ規格製品はすべて「ながさき県内生産品」に登録、公共工事に使用されています。

大牟田工場を新設 九州中部での営業を強化

現在当社が加工・販売する住宅基礎ユニット鉄筋は、長崎県ではすでに当社の製品が市場の６割を占めています。今後さらに営業基盤を強化・拡大するため、２０２４年７月、福岡県大牟田市に加工工場を新設しました。

本工場の稼働により、九州中部における製品出荷のリードタイムが短縮できます。福岡県南部や熊本県の地場業者との連携も強化し、当社の事業基盤をさらに強固にしていきたいと考えています。

佐世保の地から全国へ貢献できる 加工型製造メーカーを目指す

１９４８年、全国的な戦後復興の機運が高まる中、伸鉄業の創業再開を背景に地元の財界の皆様からの支援により当社は設立されました。社名に冠した「西日本」には、創業時の想いが込められています。その想いを胸に、当社は「西日本」の名に恥じぬよう、より一層の発展を目指し、地元佐世保の地から、地域経済そして全国経済の発展に貢献できる加工型製造メーカーを目指して参ります。

〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
（右から西山社長、十八親和銀行 佐世保本店営業部 浦部長）

西日本鋼業 株式会社

■本社所在地：〒857-0852 長崎県佐世保市干尽町4番地の8

■電 話 番 号：0956-31-4334

■事 業 内 容：●建設用棒鋼の製造
●住宅基礎ユニット鉄筋、有害鳥獣対策防護柵資材、港湾土木資材などの鉄筋加工品およびホームセンター向け加工製品の販売

■関 連 会 社：佐世保港湾運輸株式会社、西海海陸運輸株式会社、新東陸運株式会社、松島港湾運輸株式会社

FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら

ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください